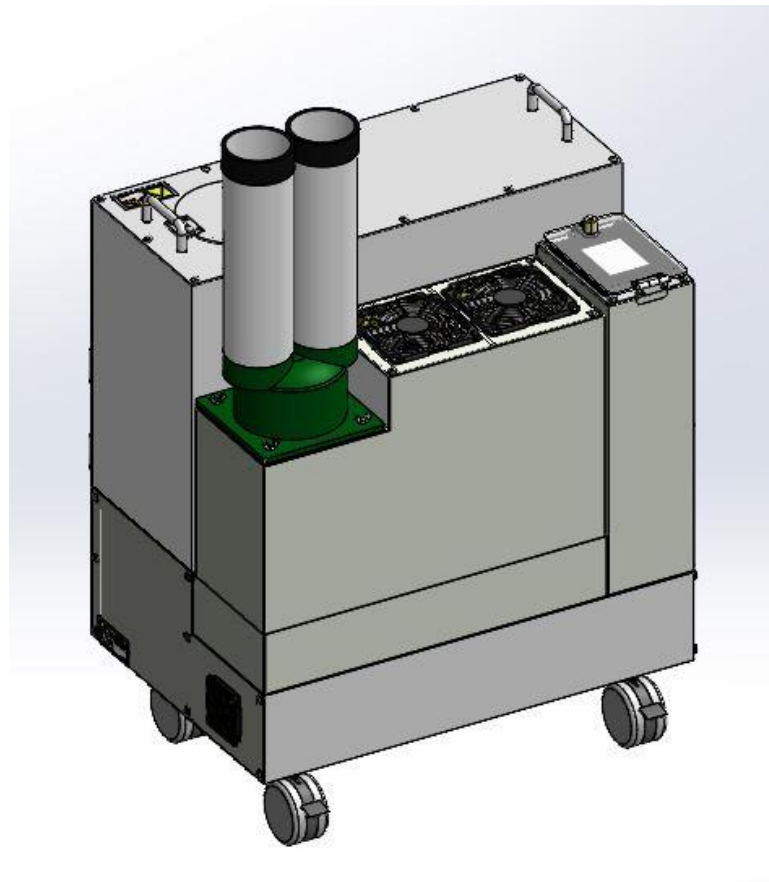


取扱説明書



目次

1.	はじめに	2
1.1.	お使いになる前に	2
1.1.	安全に関する表記について	2
1.2.	安全にご使用いただくために	3
2.	各部のなまえ	5
2.1.	本体	5
2.2.	付属品	6
3.	給水のしかた	7
3.1.	給水前に必ず確認していただくこと	7
3.2.	給水方法	7
4.	操作手順	8
4.1.	画面構成	8
4.2.	画面説明	9
4.3.	運転準備	12
4.4.	自動運転方法	12
5.	保守・メンテナンス	13
5.1.	霧化容器内及び超音波セルの清掃	13
5.2.	給水タンクの清掃	14
6.	トラブルシューティング	16
6.1.	タッチパネルが何も表示されない	16
6.2.	自動運転しない	16
6.3.	ミストが発生しない	16
6.4.	異常な音や振動がある	16
6.5.	「カチッ」と音がする	16
6.6.	運転中に霧化容器から水があふれた。	16
7.	備考	17
7.1.	仕様一覧	17
7.2.	改訂履歴	17

1. はじめに

1.1. お使いになる前に

この度は、当社の製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。

この取扱説明書は本製品の取扱い方法や保守等について解説しており、安全にお使い頂くために必要な情報を記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読み頂き、十分理解した上で安全にお使い頂きますよう、お願いいたします。

こういうことをしてはいけない、できないということは非常に多く全ては書ききれません。したがって、この取扱説明書で特にできると記載が無いことは、「**できない**」、「**してはいけない**」とご理解してください。




この取扱説明書からの無断転載を禁じます。



本書の内容および本体の外観や仕様は、改良のため予告なく変更されることがあります。

お読みになった後も取扱説明書は、本製品を取り扱われる方が、必要な時にすぐ読むことができるように保管してください。

1.1. 安全に関する表記について

安全事項を以下のように「危険」「警告」「注意」に分けて表示しています。

 危険	ここに記載されている記載事項を遵守しない場合、深刻な災害若しくは死に至る事があります。
 警告	ここに記載されている記載事項を遵守しない場合、結果的に死亡又は重傷を引き起こす危害が発生する可能性があります。
 注意	ここに記載されている記載事項を遵守しない場合、軽傷を引き起こす危害や、商品自体の損害（自損）及び他の財物に対する損傷を引き起こす可能性があります。

 禁止	「してはいけないこと」を表示しています。
 強制	「しなければいけないこと」を表示しています。

1.2. 安全にご使用いただくために

警告



- ・交流 100V 以外では使わない。日本以外では使わない（火災、感電の原因になります）
- ・電源コードを傷付ける・破損する・加工する・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・高温部に近付けるなどしない（火災、感電の原因になります）
- ・電源コードに重い物を載せる・挟み込むなどしない
（電源コードが破損し火災、感電の原因になります）
- ・電源コードを束ねて通電しない（電源コードが過熱し火災、感電の原因になります）
- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない（感電・けがの原因になります）
- ・電源コードや電源プラグが変形・損傷、いつもより熱い、電源コードを動かすと通電したりしなかったりする、コンセントの差し込みがゆるいなどのときは使わない
（感電・ショートして発煙・発火の原因になります）
- ・分解や修理、改造をしない（発火や異常作動による、感電や火災の原因になります）
修理は、販売店にご相談ください。（分解や修理、改造をすると、保証対象外になります）
- ・指定された溶液以外は絶対に使用しない（けがや故障の原因となります）
（指定された溶液以外を使用すると、保証対象外になります）
- ・吸排気口や吹出口、すき間に指や金属物等の異物を入れない
（内部に触れると、感電やけがの原因となります）
- ・浴室など湿気が多い場所、屋外など風雨にさらされる場所で使用しない
（感電や故障の原因となります）



- ・カバー及び、霧化容器を取り外す際は、コンセントから電源プラグを抜いてください。
（感電やけがの原因となります）
- ・機器より水漏れや異音、煙や異常発熱など異常事態が発生した場合は、速やかに運転を中止し、電源プラグをコンセントより抜き、販売店にご連絡ください。
- ・電源プラグは、根元まで差し込む（差し込みが不完全な場合火災、感電の原因になります）
- ・アース線を取り付ける（漏電のとき、感電や火災の原因になります）
- ・電源プラグのホコリ等は、定期的に取り除く（ホコリ等がたまると火災の原因になります）
- ・お手入れのときは、電源プラグを抜く（不意に作動して、感電やけがの原因になります）

⚠ 注意



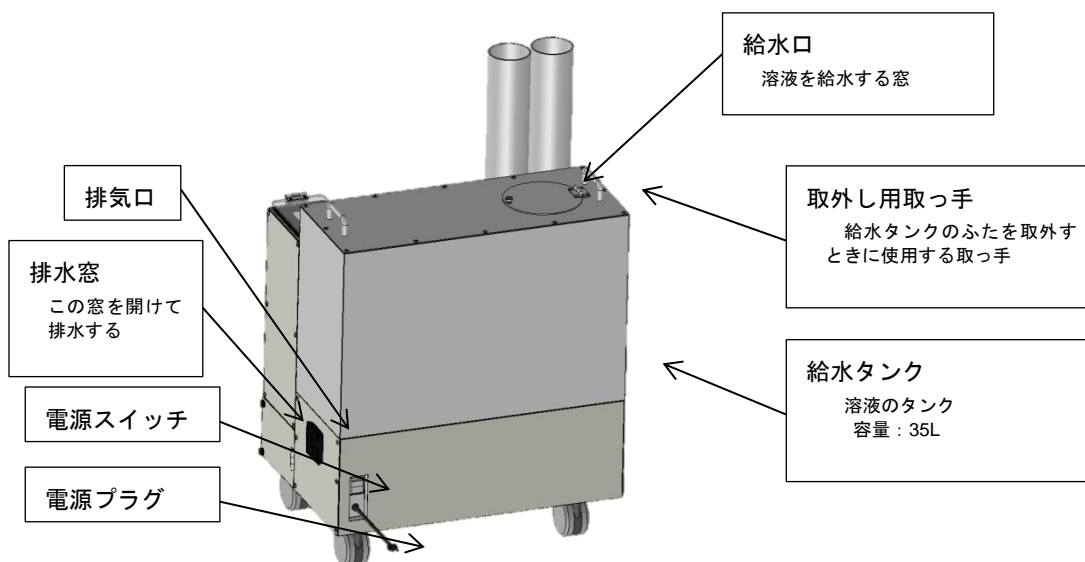
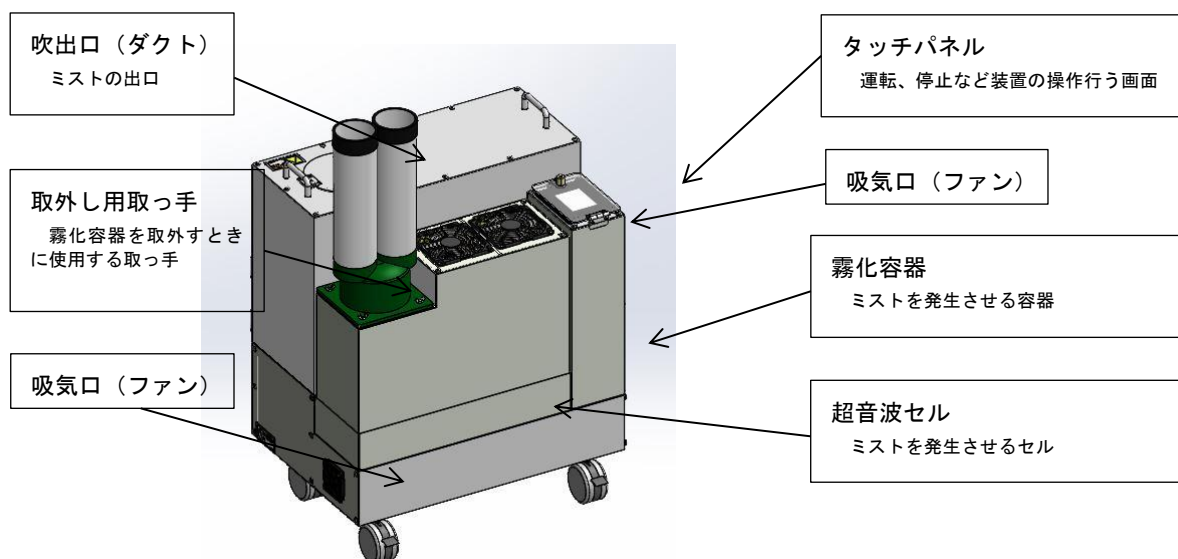
- ・ **ふたは無理に開閉をしない、本体に手を置いてふたの開閉をしない**
(無理な力で開閉すると、ふたや部品の破損及びけがの原因になります)
(本体に手を置いてふたの開閉をすると、指や手を挟んでけがの原因になります)
ふたは取っ手を持って開閉してください。
- ・ **本体やダクト等に無理な力を加えない** (本体の破損の原因になります)
- ・ **お手入れはアルコールを使用しない** (本体の破損の原因になります)
- ・ **本体の上に乗ったり、重い物を置いたりしない** (本体の破損やけがの原因になります)
- ・ **吹出口を塞がない** (水滴が落ちて汚損、故障の原因になります)
- ・ **吸排気口を塞がない** (内部の温度が上昇し、故障の原因になります)
- ・ **運転停止してすぐは、カバーを開けない**
(内部の電気部品の温度が高く、やけどの原因になります)



- ・ **落雷のおそれがあるときは、運転を停止し、電源をプラグを抜くかブレーカーを切る**
(落雷の程度によっては、故障の原因になります)
- ・ **水平な場所で使用する** (傾斜地での使用は、動作不良の原因となります)
- ・ **設置場所や使用液剤等の環境によりませんが、1か月間に1回程度、霧化容器内の液体を抜き、内部の掃除を行う**
(汚れた状態で長期間使用されますと、機械の能力低下の原因となります)
- ・ **2週間に1回程度、刷毛などで超音波セル表面の汚れを清掃する**
(汚れた状態で長期間使用されますと、機械の能力低下の原因となります)
落ちない汚れはそのままにしてください。
(無理に取りろうとしてセル表面を傷つけますと、セルの故障の原因となります)
- ・ **お手入れのときは、手袋を着用する** (けがの原因になります)

2. 各部のなまえ

2.1. 本体



2.2. 付属品

付属品（段ボール内同梱）

- ・ 2口ダクト
（固定ボルトは本体に仮止めされています。）
- ・ 計量カップ
（原液を計量する際、使用します。）
- ・ 掃除用はけ
（超音波発生装置セルの掃除の際、使用します。）
- ・ 高周波利用設備許可申請に係る書類一式



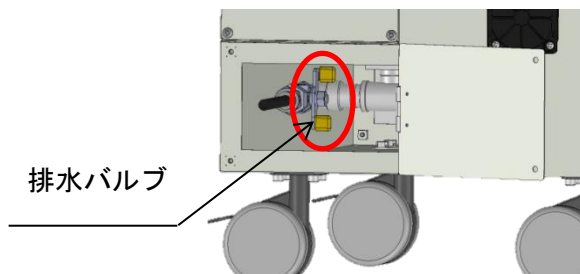
3. 給水のしかた

3.1. 給水前に必ず確認していただくこと

- ・排水バルブは止水位置（縦）になっているかご確認ください。

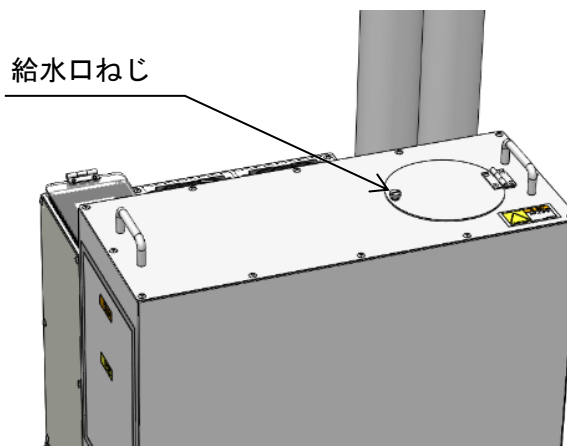
（排水窓の開け方は5.1.1 参照）

- ・給水は運転停止状態で行ってください。



3.2. 給水方法

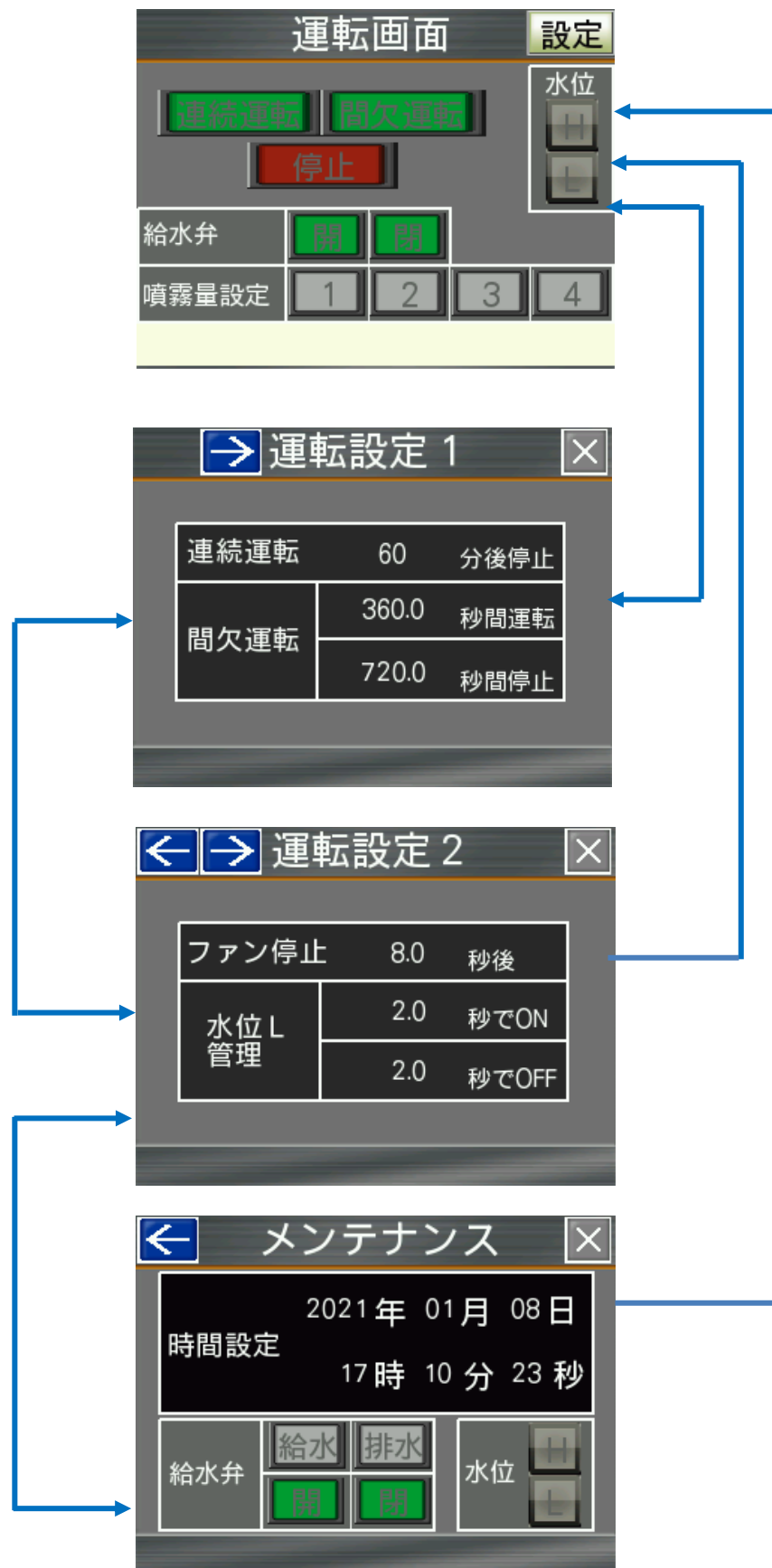
1. 給水口のねじを手で緩め、ふたを開けます。
2. 給水口から給水します。（タンクには35L以上入れないでください。）
3. ふたを閉じ、ねじを締めます。



- ・ふたの開閉時に指づめに注意してください。
- ・本体に水がかからないようにしてください。
- かかった場合は拭いてください。

4. 操作手順

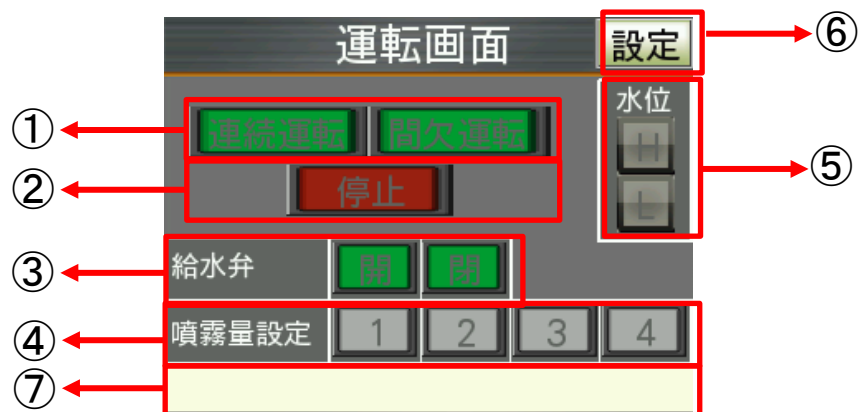
4.1. 画面構成



4.2. 画面説明

4.2.1. 運転画面

最初にこの画面が表示され、運転・停止操作を行えます。



① 運転操作ボタン

運転させることができます。

連続運転…設定時間または停止操作するまで運転します。

間欠運転…設定時間毎に運転・停止を交互に行います。

緑点灯…運転中

② 停止操作ボタン

運転中に操作することで停止させることができます。

赤点灯…停止中

③ 給水弁操作ボタン

給水弁の開閉動作をさせることができます。

※連続、間欠運転中は操作できません。

開…緑点灯で開

閉中に操作することで開動作を行います。

閉…緑点灯で閉

開中に操作することで閉動作を行います。

④ 噴霧量設定ボタン

噴霧させるか所を選択できます。

最小0～最大4か所の選択ができます。

白点灯…点灯か所で噴霧します。

⑤ 水位表示ランプ

運転時の給水水位を表示しています。

H…給水停止水位。給水停止水位以上で給水停止。
黄点灯で給水停止水位以上
L…給水開始水位。給水開始水位以下で給水開始。
黄点灯で給水開始水位以上

⑥ 設定ボタン

設定画面を表示させることができます。

⑦ 状態表示

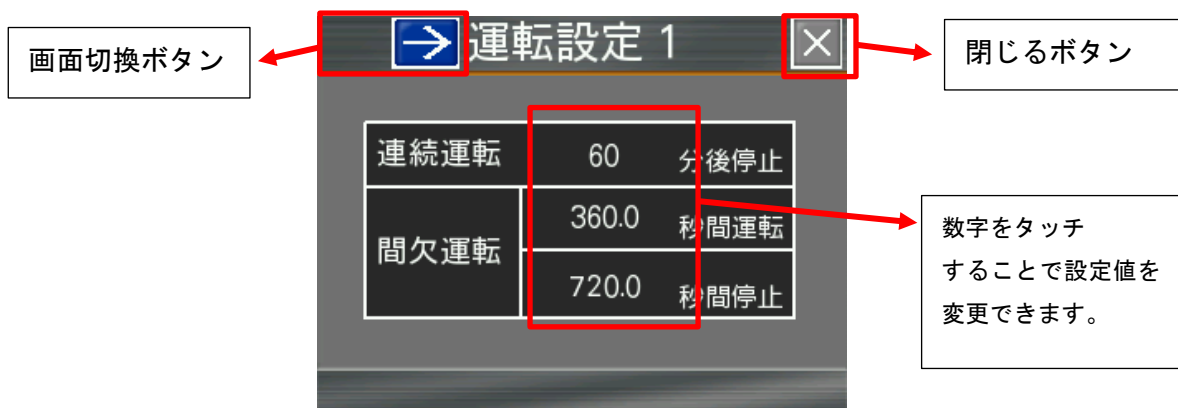
状態履歴を表示します。

「発生時間 状態」

4.2.2. 設定画面

各種設定をすることができます。

➤ 共通項目



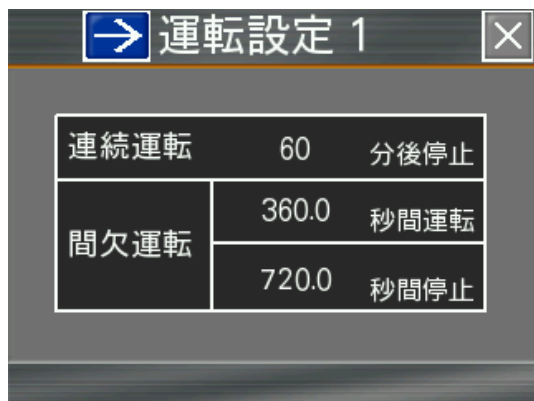
・画面切換ボタン

表示する設定画面を切替えることができます。

・閉じるボタン

運転画面を表示させます。

➤ 運転設定画面 1



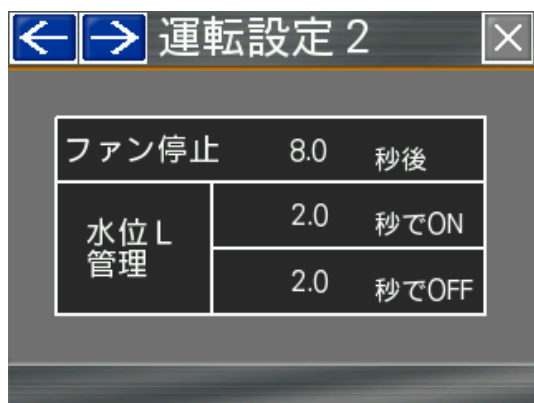
連続運転…

連続運転時の運転時間を設定できます。

間欠運転…

間欠運転時の運転時間と停止時間を設定できます。

➤ 運転設定画面 2



ファン停止…

運転停止後、設定時間ファンを動作させることができます。

水位L管理…

水位LのON遅延、OFF遅延時間を設定できます。

➤ メンテナンス画面



時間を変更することができます。

給水…白点灯でON

給水ON時に開操作を行うと水位Hまで開動作を行います。

排水…白点灯でON

排水ON時に開操作を行うと強制開動作させることができます。

(排水時以外では使用しないでください。)

4.3. 運転準備

4.3.1. 操作前確認事項

給水タンクに水をいれてください。(3.給水のしかた参照)

4.3.2. 電源をいれる

電源コードをコンセントに差ししてください。

次に電源スイッチを押してください。

※電源スイッチが緑点灯しているか確認してください。

消灯していれば電源がはいっていません。

4.3.3. 水位の確認

タッチパネルの水位Lが黄点灯していることを確認する。

※消灯しているなら点灯するまで水をいれてください。

1、メンテナンス画面で給水を操作してください。(給水が白点灯していること)

2、メンテナンス画面の給水弁「開」操作をしてください。

給水が開始します。



4.3.4. 各種設定

各種設定をしてください。

4.4. 自動運転方法

- タッチパネルから運転操作をしてください。
運転を開始すると運転操作ボタンが緑点灯します。

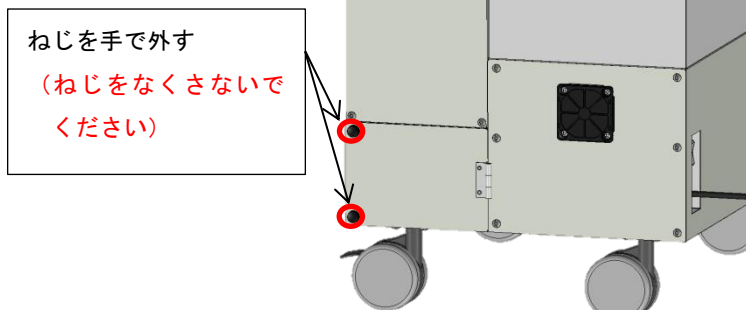


5. 保守・メンテナンス

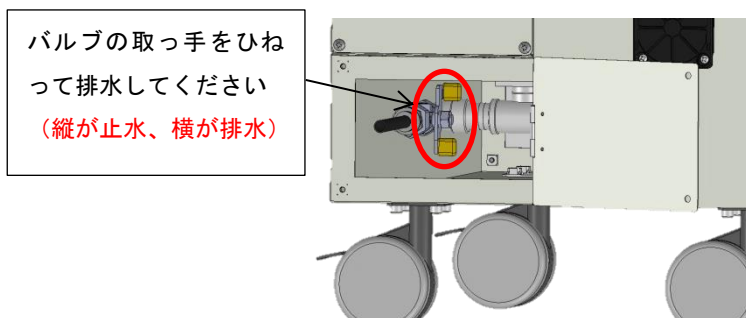
5.1. 霧化容器内及び超音波セルの清掃

5.1.1. タンク内の溶液抜き

1. 横にある排水窓のねじを手で回して開けてください。



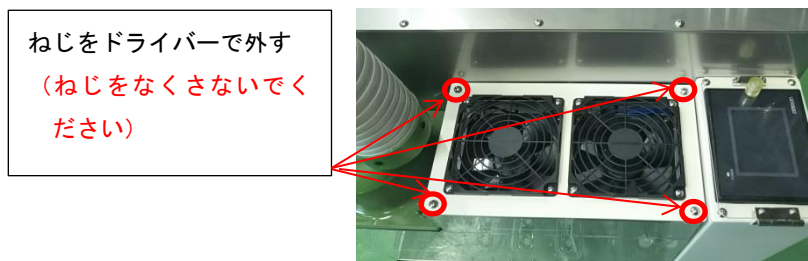
2. 排水ホースの端を取り出し、容器などに入れてください。
3. 本体の排水バルブを開け、排水してください。



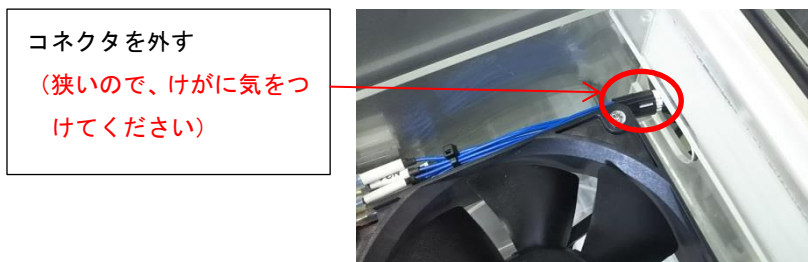
4. 排水が終わったら、排水バルブを閉め、排水窓のねじも締めてください。

5.1.2. 霧化容器の取り外し

1. 電源を切り、電源プラグを抜いてください。(必ず行ってください。)
2. ファンカバーのねじをドライバーで外し、ファンカバーを外してください。



3. ファン横のコネクタを外してください。



4. 取っ手を持って霧化容器を取り外してください。



5.1.3. 霧化容器の拭き掃除

- やわらかいスポンジ等で内部の汚れをふき取ってください。
(アルコールは絶対に使用しないでください。)



5.1.4. 超音波セルの清掃

- やわらかいスポンジ等で内部の汚れをふき取り、超音波セルを刷毛等で汚れを取ってください。
(無理に取ろうとしてセル表面を傷つけますと、セルの故障の原因となります。)



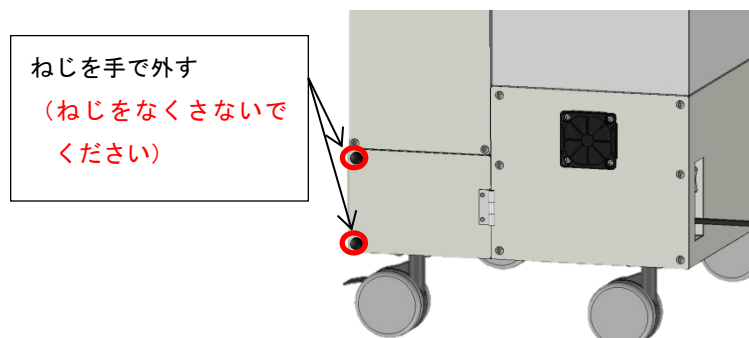
5.1.5. 復元

1. きれいになりましたら、復元します。
2. 5.1.2 を逆の手順で元に戻します。

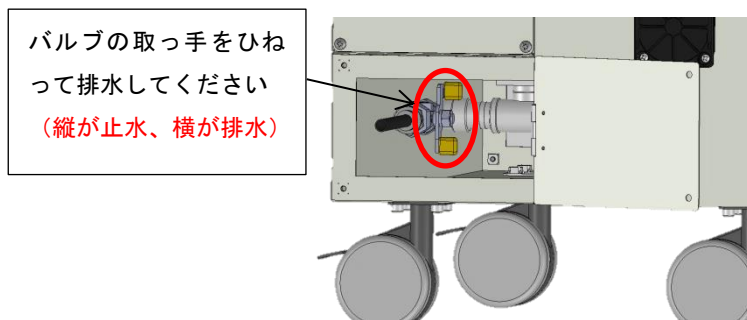
5.2. 給水タンクの清掃

5.2.1. タンク内の溶液抜き

1. タッチパネルの給水弁操作ボタンの「排水」を押し、電磁弁を開いてください。
2. 横にある排水窓のねじを手で回して開けてください。



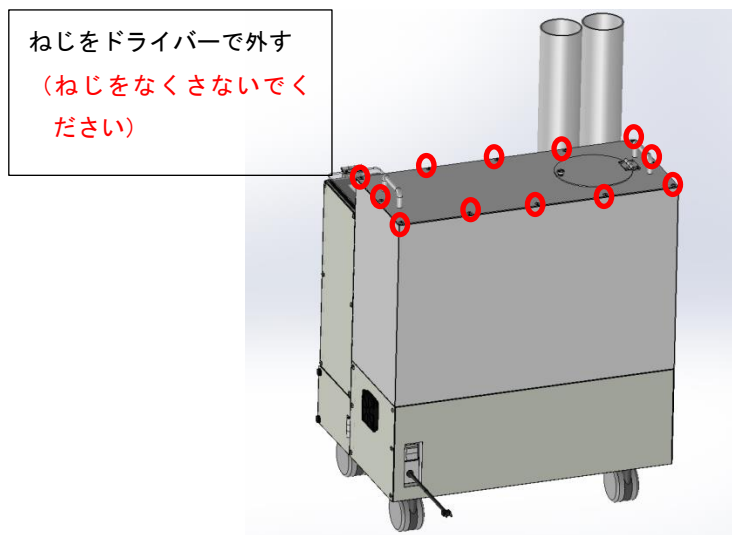
3. 排水ホースの端を取り出し、容器などに入れてください。
4. 本体の排水バルブを開け、排水してください。



5. 排水が終わったら、排水バルブを閉め、排水窓のねじも締めてください。

5.2.2. 給水タンクの清掃

1. 電源を切り、電源プラグを抜いてください。(必ず行ってください。)
2. 給水タンクふたカバーのねじをドライバーで外し、給水タンクふたカバーを外してください。



5.2.3. 給水タンクの清掃

やわらかいスポンジ等で内部の汚れをふき取ってください。

5.2.4. 復元

1. きれいになりましたら、復元します。
2. 5.2.1 及び 5.2.2 を逆の手順で元に戻します。

6. トラブルシューティング

6.1. タッチパネルが何も表示されない

- 電源コードがコンセントに差し込まれているか確認してください。(4.3.2 電源を入れる 参照)
- スイッチがONになっているか確認してください。

6.2. 自動運転しない

- タッチパネル画面を確認し、水位がL以上あるかを確認してください。(4.3.3 水位の確認 参照)
- 運転操作ボタンが緑点灯しているのを確認してください。
- 間欠運転時、「間欠運転時間」が設定されているか確認してください。(4.2.2 設定画面 運転設定画面1 参照)

6.3. ミストが発生しない

- 噴霧量設定がされていることを確認してください。(4.2.1 運転画面 参照)
- タッチパネル画面を確認し、水位がL以上あるかを確認してください。(4.3.3 水位の確認 参照)

6.4. 「水位センサーH異常」が表示され、運転・給水しない

- 運転画面の停止操作をしてください。
「水位センサーH異常」が非表示になり給水操作ができるようになります。
水位の状態を確認してから操作してください。

6.5. 異常な音や振動がある

- ダクトやカバーが確実に取り付けられているか確認してください。

6.6. 「カチッ」と音がする

- 電子部品の動作音です。異常ではありません。

6.7. 運転中に霧化容器から水があふれた

- 運転を停止し、販売店へご連絡ください。

上記を確認いただきましても直らないときは、電源プラグを抜いて、販売店へご連絡ください。<https://www.mgshoten.com/SHOP/MistSavior.html>



7. 備考

7.1. 仕様一覧

形式	3dp_2008-04
方式	超音波加湿方式
設置方式	移動式（キャスター搭載）
給水タンク容量	35L
噴霧能力	最大 4L/h（噴霧粒径・外気温度等により変動します）
許容周囲温度	5～37℃（結露・凍結しないこと）
許容周囲湿度	80%RH 以下（結露しないこと）
定格電圧	AC100V（50/60Hz）
許容電圧範囲	定格の90～110%
定格消費電力	250W
電源コードの長さ	5m
重量	29.0kg（乾燥重量）
外形寸法	W570×D395×H722（吹出ダクトを除く）

※本仕様は予告無しに変更することがあります。

7.2. 改訂履歴

Rev	改訂符号	内容	作成
1_00		新規作成	2022/11/11

問い合わせ先

滋賀県長浜市宮前町 12 番 6 号

株式会社 宮 川 商 店